



「川口けいすけ」市議会傍聴記

かつ
喝

12月21日に閉会した平成16年第5回定例市議会ですが、1月に市長選を控えての議会ということと、いつもと違う緊張感を期待しつつ傍聴席に向ったのですが、その期待は見事に裏切られました。

緊張感どころか、全40人のうち半数の20人を占める最大会派啓政会（自民系）の議員が一人も一般質問に立たないという前代未聞の議会でした。本当は質問に立ちたかった人もいるのかもしれませんが、会派の方針には逆らえないということなのでしょう。（そもそもこの会派には、前回の当選以来一度も一般質問に立っていない議員が何人もいるのですが。）しかも、議員が唯一自らの思いを主張できる一般質問の機会を自ら放棄した理由が、選挙を控えた市長に「配慮」したのだという話さえ聞こえてきました。話が本当であれば許せないことです！結局、この議会は半数で行われたも同然のビックリ議会でした。（本当はまだまだあるんです！）この状況を皆さんはどう思われますか？

7階傍聴席から6階の議場を写した写真(市のHPより)



～一般質問の中から～

* 質問・答弁ともに要約させていただきました。

高橋 剛 議員（社会民主党）： 古谷東小学校児童数減少への対応について

来年度の新入生が10人とのことだが、児童数が少ないことのメリット・デメリット、複式学級のある学校があるのか。また、東小に対し、市がどのような対応考えているのか聞かせて下さい。

市の答弁： メリットとしては一人ひとりの児童への決め細やかな対応が可能と考えられること、デメリットとしては運動会等行事に支障が生じる可能性や友達の数が減るなどのことが考えられます。また川越市内には複式学級はなく県北の分校などに数校あります。東小に対しては「小中学校あり方委員会」の中で今後検討していきます。

川口けいすけ調査

担当課に資料を求めたところ、「まだ委員会が出来て間もない為、具体的な話は何も無く、委員会での資料も、まだ具体的な話に入っていないのでお渡しできるものは何も無い」とのことでした。また、以前から噂になっている、『近い将来福祉施設になる予定』という話についても、「まだ何の予定も立っていない」との回答でした。すべてはこれからという回答なので、行政側には、今後住民の意見をしっかりと聞いていただきたいと要望してきました。

江田 俊雄 議員（公明党）： 南古谷駅前交番の設置について

南古谷周辺は今後もますます開発が進み、人口の増加も予想されます。駅前の整備と合わせての交番の新設が必要だと思いますが、市はどのように考えているのでしょうか。

市の答弁： 新しく交番を作るには警察官の増員が必要です。県には今までたびたび増員要求をしまいましたが、人員不足もありなかなか実現されないという現実があります。新交番についても検討を進め、今後もいっそうの努力をしまします。